
IFA U-6 キッズサッカーフェスティバル

in 桜ノ牧高等学校 レポート

2017年12月10日（日）に、県立水戸桜ノ牧高等学校グラウンドにて、「IFA U-6 キッズサッカーフェスティバル」を開催いたしました。今回のフェスティバルは桜ノ牧高等学校サッカー部員1・2年生76名のユースキッズリーダー1人に対して、子ども1人もしくは2人がペアとなり活動しました。



桜ノ牧高等学校サッカー部のみなさんには、事前研修として講義1.5時間、実技1.5時間の日本サッカー協会公認キッズリーダー養成講習会を受講していただいています。茨城県サッカー協会キッズ委員会では、キッズリーダー養成講習会を終了した高校生をユースキッズリーダーと呼んで、キッズサッカーフェスティバルに参加していただいています。

当日は、二日前の雨と霜の影響によりグラウンドが水浸しの状態でしたが、ユースキッズリーダーのグラウンド整備により、なんとか活動スペースを確保することができました。活動が始まると参加のキッズたちは、ペアになっているユースキッズリーダーととても楽しそうに活動していました。今回は、ペアでジャンケンして負けたら相手の周りを回るアイスブレイク&動きづくりに始まり、①ユースキッズリーダーのまねっこ（ボールフーリング）②コーン当てゲーム ③シュートのセッションに分かれて活動し、最後はミニゲームを行いました。

ユースキッズリーダーは、講習会で学んだことを意識しながら活動してくれていましたし、当日の約束3つ ①みんなが初めてのコーチかもしれないという自覚をもって活動する。②子どもの目線に立つこと、たくさんほめてあげること。③自分自身こそ

楽しむこと。を踏まえてキッズたちと向き合ってくれていました。

活動終了後も、キッズたちはユースキッズリーダーのもとを離れず、話をしていたり、個別に写真撮影をしたりと微笑ましい光景がありました。

ユースキッズリーダーの素晴らしい立ち振る舞いのおかげで、笑顔溢れるサッカーフェスティバルになりました。

〔キッズリーダーインストラクター 檜山魁斗（水戸ホーリーホック）〕



【ユースキッズリーダー コメント】

- ・子どもと遊ぶのが初めてだったので緊張したが、楽しく活動することができた。
- ・楽しんでもらえるか不安だったが、活動終了後に楽しかったと言ってもらえたのでホッとした。
- ・不安だったが、接してみると小さい頃に戻った感じで、とても楽しかった。自分の小さい頃を思い出した。
- ・子どもの気持ちを考えて活動することができたが、教えることがとても難しかった。
- ・子どもたちは純粋にサッカーを楽しんでいた。子どもたちがこれだけ楽しんで活動している裏には、コーチなど支えてくれる人たちがいるおかげだと感じた。

【スタッフコメント 桜ノ牧高等学校サッカー部 平野コーチ】

12月10日（日）に水戸桜ノ牧高校で開催されたキッズサッカーフェスティバルにお

いて、選手たち一人一人がキッズリーダーとして参加させていただいた。事前にキッズリーダー講習会で講義や実技を受講しての参加であったが、実際に子ども達を前にすると緊張している様子が選手からは見られた。最初は表情の硬い選手もいたが、キッズリーダー講習で学んだことを踏まえて積極的に子どもと関わろうとしていた。時間とともに、子ども達から笑顔が見られたり笑い声が聞こえたりするようになると選手たちも自信を深めて楽しんでいく様子が見られた。事前にインストラクターの方から話があった「子ども達にとって初めての指導者になるかもしれないという自覚と責任をもつこと」「自分自身が楽しみ子どもにサッカーを好きになってもらうこと」について選手たち一人一人が意識して取り組んでいたように感じた。終了時には子ども達一人一人から満足そうな様子が見られた。また、選手たちの中で、将来指導者を志す生徒以外からも充実した表情が見られたり、意欲的な姿勢が見られたりしたことは印象的であった。

今回のような普段とは違った視点でサッカーに関わることは、ユース年代の選手たちにとって有益なものであることがわかった。また、キッズリーダーとして関わった選手たちがそれぞれ感じたことを胸に、今後どのようにサッカーに関わっていくのか楽しみに感じた。機会があれば、選手たちのためにも再びキッズサッカーフェスティバルに参加させていただきたいと思う。



ご参加いただきました皆様ありがとうございました。
また一緒にサッカーしましょう！！